

【知】自ら学び、考え、進んで行動する人

【徳】互いを尊重し、協力する人

【体】心身ともにたくましく健康な人

杉並区立中瀬中学校

下井草4-3-29 Tel 3399-2196

しなやかでしたたかな心を育む

校長 香西雅斗

科学と自然の散歩みちのハナミズキの紅葉が深まり、プラタナスの落ち葉を踏むたびに冬の訪れを感じる季節となりました。

この季節に行っているのが、3年生全員との面接練習です。出入りの所作のレクチャーとトレーニングとともに「中学に入学したころの自分と、今の自分を比べてみて、成長したと思うのはどんなところですか？」という質問を全員にしました。ここで、何人かの答を紹介させていただきます。

入学したころは、人と関わるのが苦手で引きこもりがちだったと思う。部活で一年生のまとめ役を選ぶことになり、チャレンジしてみようと思った。みんなに指示したり、話しかけたりした。成長するために、苦手だった最初やりたくないと感じていてもしつかり取り組み、周りと関わる事が大切だと学んだ。(男子)

最初はいろいろな人と関わるのが難しくどうしたらいいかわからなかった。自分が苦手でも、嫌だなど表に出すと、相手も分かる。行事や日々友達と関わっているなかで、どんな人でも自分から話しかけるようにしていくうちに、自分の居場所、輝ける場所ができた。(女子)

それから目標があつた方がいい。それに向かつて進んでいける。部活でも行事でも、みんなに向かっていく。(男子)

時間を守る、やると決めたら逃げない、という責任感。友達や人間関係も大事、勉強も大事と思うようになった。学校から足が遠のいていた時は、好きな事ばかりやっていた。学校に来てみると、好きなことをやる時間がなくなかない。でもそれでもいいと思うようになった。例えて言えば、自由に作文を書いていいよと言われてもなかなか書けないけど、お題があると結構書けるようなものだと思う。

狭い見方だったのが、世界が広がった。知らなかったことを知ろうと挑戦した。二年生になって、壁を超えようと、勉強に向かい合い、授業で発言を心掛けた。(女子)

このほか家の人との関係から「1年の時は、親の言うことを何でもかんでも聞いていた。今は自分の道を自分で歩いている。(男子)」 「最初は、困っていることや悩んでいることがあっても、家の人に相談するなんてありえなくて、隠していた。今はアドバイスをもらい、それを活かしてみることができるようになった。(女子)」と話していた生徒、「自分の弱い所を認められるようになった。(男子)」 「最初は苦手な事や人は避けていた。でもなんとかしたいと努力し、少しずつできるようになった。自分の努力を、みんなが認めてくれたことが心強かった。(女子)」など、たくさんの生徒が、自分を真剣に振り返り、自分の言葉で語っていました。

行事だけではなく、生徒会や普段の生活でも1・2年生を見事にリードしている3年生も、最初からそうだったわけではありません。中瀬中で、いろいろなことを経験し、学び、周囲とぶつかり合い、力を合わせて様々なことに取り組んでいく中で、仲間として認め合い、自分について気づき深く考え、レジリエンス（復元力・折れても立ち直る力）を養ってきたのだと、強く感じました。

卒業式では、今回の面接練習を思い出しながら、証書を渡すことになります。この練習が生徒たちにとって、これからの人生で自分を『魅せる』第一歩になること、そして中瀬中がこれからも、しなやかでしたたかな心を育む学び舎であることを願っています。

音楽発表会～合唱の素晴らしさ～

人の体は共鳴器です。自分の声が隣の人を震わせ、自分も周りの声によって震えます。口を開き、リラックスしながら吸う息と吐く息をそろえていくと、周りの人や違うパートの音が自分の体で響き始めます。

響き合うのは音だけではありません。心を開きリラックスしていると、相手の気持ちが自分の心に響き、自分の思いも周りに響いていきます。たくさんの人のいろいろな声が重なれば重なるほど、一人一人の欠点が消えて響き合い、誰一人として不必要なメンバーな

開会の言葉(副実行委員)
皆さんいろいろな努力をしてきたと思います。この音楽発表会は優劣が付きます。体育大会実行委員長が言っていました。勝つことよりも大切なことがある。「音楽発表会も同じです。」
三年生は、優勝することだけでなく、後輩、保護者、先生方を感動させるために、練習をしてきました。聴く人が、しっかりと聴いて、初めていい音楽発表会になります。皆さんの力で、この音楽発表会を成功させましょう。
三年C組

どいないことが自然にわかってきます。

そして、多くの人の思いが響き合うことによって、みんなの思いが一つになっていきます。人と人との関係のあるべき姿とエッセンスが味わえる、これこそ合唱の素晴らしさです。

10月29日に杉並公会堂のホールに響き渡った生徒たちの歌声は、本当に素晴らしいものでした。中でも三年生は、練習に取り組む姿で一・二年生を引っ張り、発表会当日も高いレベルの歌声と思いを会場にプレゼントしてくれました。



<3年生の全体合唱『大地讃頌』>

注目の多い合唱曲

歌うことが好きだ。音がきれいに重なるのもっと好きだ。だから、合唱が好きだ。でも正直、記号を深く意識したことはあまりない。目の前のことに集中しているというのに、細かいことを気にするなんて。そんな余裕はない。でも、今年の音発を通して考えが変わった。
最初、ぎょっとした。今まで無視していただけで、こんなに注文をつけられていたなんて。練習していく中で、作曲者がどうしてこの記号をふったのかとか、聞いている人にどんな影響を与えられるかなどを考えるようになった。難しく考えたら余計にわからなくなることが多いけれど、たまには楽しいかもしれない。
そして、迎えた本番。たくさん話し合って確認したおかげか、記号を意識しつつ集中して歌うことができた。バストを尽くしたと思った。結果は最優秀賞。喜んで肘をぶつけたけれど、気にならないくらいうれしかった。
今年の音発を通して、今まで意識してこなかったことにも目を配ってみることが大切だと気付いた。そして、物事がもたらす結果を考えることも重要だと学んだ。この経験を生かして、これからの学校生活に生かして欲しいと思う。
(3C)

勝つことが全てじゃない。A組の歌を聴いた人たちに、いい曲だったと思ってもらえればいい。みんなの心の中に桜の花を咲かせよう
～鈴木先生～

：優勝できるのは嬉しいだろう。誰にだって優勝したいという気持ちはあったはずだ。だけど、結果が全てではないんだと、最後の音楽発表会を終えた今、強く感じてる。ふり返れば、朝起きるのが大変だった朝練習も、音程が違おうと何度も怒られた音楽の授業も、校庭で輪になって練習したことも、終わってしまったと寂しく感じる。

A組で頑張っただけで良かったなと感じる。たとえ賞をとれなくても、私の中に悔いはない。A組が歌った曲のA組らしさは、他の誰にも真似はできないだろうし、ステージの上で堂々と僕の居場所「家族のような存在」と言い切れるのも、僕もそんなA組が大好きです♡」と言えるのも、全てがA組の良さだと思う。

上手ければ良くて下手ならばダメなのではない。勝つことが全てじゃないというの、はこのクラスで良かったと思えることなんだと強く感じた。
(3A)

楽しかった、でも」
：自分達の合唱は練習通りに歌えたと、先生達の「YMC」はまだ覚えてる。吹奏楽部、クラス合唱の時だって、何度も鳥肌が立った。
なぜだろう。今、僕は充実した気持ちではないような、心にぽっかりと穴が開いたような気持ちなのだ。一体その原因は何なのか。最後の学校行事、最優秀賞をとれなかったから？みんなと何かをするのが最後だから？悩ましい原因だ。確かに言えることは、三年生にとって、これが最後の学校行事だと言えることだ。

時間は刻々と過ぎてゆく。もうすぐ受験だ。ものすごく不安がある。先が見えないことは嫌なものだとつくづく思う。そんな不安を打破するものは、音楽発表会に向けて作られた仲間との団結力だと僕は思う。

一人では大きな壁は越えられない。でも、僕は、音発という名の大きな壁を、互いに支えあつて乗り越えてきた。その団結力で、受験という名の大きな壁を僕は乗り越えられるはずだ。

：音楽発表会で学んだことをどう活かすのか。だ。結果に左右されず、結果より過程を大切にしたい。
(3D 実行委員長)

【審査結果】

1年 最優秀賞 D組
自由曲「あさがお」
優秀賞 A組
自由曲「大切なもの」
2年 最優秀賞 B組
自由曲「瑠璃色の地球」
優秀賞 C組
自由曲「友～旅立ちの時～」
3年 最優秀賞 C組
自由曲「言葉にすれば」
優秀賞 D組
自由曲「走る川」
指揮者賞(3D)
伴奏者賞(3D)

「ありがとう」の言葉・一人一人の力
：『天地讃頌』の最後の部分がずれて、みんなの声
がこたまのようになった時、誰一人慌てなかつ
た。みんなの声がゆっくりと次の歌詞に向かい、
最後には一つの、3Bの音の川となって客席へ流
れていった。
おしかったという思いより、ずれても堂々と歌
えた、良かったという気持ちが強かった。
自由曲『証』も進んでいく。歌とピアノがずれて
しまう部分に差し掛かった。慎重に、慎重に。みん
なが指揮とピアノの音に集中して、山場を乗り越
えた。
：実行委員はよく私達に「ありがとう」と言っ
ていた。当日の朝も 今日まで頑張って練習して
くれてありがとう。」
アクシデントが起きても、落ち着いて3Bらしく
歌えるように導いてくれた実行委員の二人に、今
度は自分が「ありがとう」と言いたい。
：『天地讃頌』も『証』も、半分は実行委員のおか
げで難所を通り抜けられたと思う。後の半分は、
残り全員の力。三年生の最後の行事は、このク
ラスが勝つか負けるのかというドキドキを超え
て、最後まで共に歌い終わろうとする団結力が良
く表れたと思う。」
(3B)

職場体験学習

10月3日(水)～5日(金)に、50近い事業所の協力で、2年生の
職場体験が行われました。7月の社会保険労務士の方々によるワー
クショップなどを通して、働くことについて考え「働くことが結局は
自分の幸せにつながっていく」ことを学んでからの体験でした。

各事業所ではどの生徒も、学校では見ることがなかなかない表情
で、生き生きと実習に取り組んでいました。各事業所の方々より「と
ても良い生徒さん達で挨拶もしっかりとして、仕事も良くやってくれていました。」とお褒めの言葉を
いただきました。



＜榎本豆腐店での体験＞



＜班毎のワークショップ＞

また10月13日(土)の2・3時間目は、30名以上の様々な
分野の社会人の方々(化粧品の開発、障害者施設の支援員、区役所
の職員、翻訳者、アパレルメーカー、看護師、エステティシャン、
劇団員など)の協力を得て、職場体験の振り返りのワークショップ
を体育館で行いました。自分の内面に向き合い言葉にするのは難
しいことですが、生徒たちは大人の方と対話しながら、一人一人の
「働く上で大切にしたいこと」を言葉にしました。生徒たちは
「やりたい事を作り出す人、やりたい事に飛び込む人、やりたくない事をや
りたい事に変える人、どれも素晴らしいと思う。僕は…(2D)」など自分の考
えを深めていました。ここで、社会人の方々からのメッセージを紹介します。

どんなに勉強ができて、一生懸命にな
れない人より、元気に挨拶ができて素直に
頑張れる人が成功します。それを伝えるこ
とができて嬉しかったです。一生懸命にな
れる仕事が、みんなに見つかりますように。

思った以上に生徒たちが、仕事に対
する考えをしっかりとっていて、先のことを
楽観もせず悲観もせず、ちゃんと見てい
るなど驚きました。
考える事、人を思う事は大事です。

生徒の皆さんは、意外と現実的に
考えていました。男子は夢をもっていそ
うでしたが公にはせず、反対に女子は
夢(将来、仕事)が明確にあり、自分
の頃に比べて大人だなと感じました。

明るくやりがいをもって働いている
人の姿を見ることができたようです。
みんな“働く”という事をよく捉えてい
ました。3日間の職場体験を振り返り、考えることができ、社会人の
第一歩を踏み出したと思います。

「大切にしたいこと」の順番付
けをする時に、簡単に付けられ
ないことを学んだと言っていた生
徒がいました。自分にとって何を
大切にしたいのかを明確にして
いく良い機会だったと思います。

時間が自由になる仕事を第一に考える人、保育
士になりたいから給料は二の次という人、給料が低か
ったら働く気持ちになれないという人、いろいろな考え
方を聞いて驚きました。未来を信じていたり、決心し
ていたり、今の自分の課題を言ってみたり、そういう真
剣に考える姿に心を打たれました。

樹名板設置

70周年記念式典でのビオトープ委員会よりの呼びかけに応じてくれた地域の方々のおかげで、70枚の樹名板を、科学と自然の散歩みちに設置することができました。

平成16年の1年生は6つのテーマで科学と自然の散歩みちを調査し「夢の卵を育もう」という取組を行いました。今の3年生は2年前に同じ6つのテーマで再調査を行い、区に提言しました。それを受け今の2年生は昨年、提言の一つ「破損した樹名板の付け替え」について、自分たちができることとして、散歩みちの樹木調べを行い、今年の1年生が先日、樹名板を設置しました。中瀬中はこれからも、自分たちのできることとして散歩みちの美化に取り組んでいきます。

樹名板は以下の表の54種類の木に設置しました。散歩みちを通る時に見つけてみてください。

アカモモチ	エンジュ	グミ	シラカバ	ハクウンボク	ムクゲ
アキニレ	オオムラサキ	クログナモチ	スギ	ハクモクレン	モチノキ
アケボノスギ	カイヅカイブキ	コクサギ	センリョウ	ハナミズキ	ヤブツバキ
アジサイ	カキ	コデマリ	ツクバネウツギ	ヒイラギモクセイ	ヤマゲタ
アセビ	カナメモチ	コブシ	ツバキ	ピラカンサ	ヤマブキ
イヌツゲ	キョウチクトウ	コムラサキ	ドイツトウヒ	ビワ	ヤマモモ
イロハモミジ	キリ	サザンカ	トチノキ	ブッドレア	ユキヤナギ
ウバメガシ	キンモクセイ	サルスベリ	ナンキンハゼ	プラタナス	ユリノキ
ウンシュウミカン	クチナシ	シダレザクラ	ナンテン	マテバシイ	ユズリハ



＜右側解説は2年生の直筆です＞

12月の予定

⑤・・・スクールカウンセラー出勤日

日	月	火	水	木	金	土
12/2	3	⑤ 4	5	6	7	道徳授業 8
	安全指導	全校面談始	中瀬中級校外学習		ビブリオカフェ	地区公開講座
9	朝礼 10	⑤ 11	校内研修会 12	13	避難訓練 14	15
杉並区 駅伝大会	校医講話 面談終	PTA 運営			卒業アルバム 個人撮影	私立高校事前 相談始
16	17	⑤ 18	職員会議 19	20	21	22
					全校美化	
23	24	職員会議 25	26	27	28	29
天皇誕生日	振替休日	終業式	冬季休業日始			

＜1月の予定＞ 1/8(火) 始業式・書初め展示 12(土) ICT 公開授業、中瀬検定

18(金) 1・2年 百人一首大会 21(月) 1年理科出前授業 26(土) 都立高校推薦入試(～27)

30(水)～2/2(土) 2年菅平移動教室

道徳授業地区公開講座

12月8日(土)の1・2時間目は道徳授業地区公開講座です。今年は講師に、セカンドハーベスト・ジャパンのCEOのマクジルトンさんにおいでいただき「よりよい社会の実現に努めること」をテーマに、体育館で全校生徒とワークショップを行います。ファシリテータは国際交流でもお世話になった、山ノ内さんと米本さんです。

マクジルトンさんはフードドライブを含むフードバンクを日本で始めた方で、右の写真の様に、高校1年の英語の教科書(CRUWN)にも載っています。

マクジルトンさんを囲んで懇談も行います。こちらもぜひご参加ください。

